令和 3年度 行政評価事業別シート

		実計対象		評価対	付象		新規		完了事	業 [□ <mark>t</mark>	ヹロ予算	事業		担当者	者	山	小忠久
		全体計画							経費区	分		_			内線		3	3118
事務	事業名	12420	防災	施設整	養備事	業												
所	属	050100	総務	部・総	務課	1												
施	策	05011500	防災	体制の	充美	2												
マ畑	会計	01	一般	会計														
予算	科目	020101	総務	費・総	務管	理費	一般管	理費										
科目	事業	050000	防災	施設整	孫備事	業												
事業	目的									事業	概要	・効果						
ŧ	旨定緊急	急避難場所	íの標	識を新	fしく	し、	災害時の	避難	:場	指	定緊	急避難場	易所の	標諳	が経年	劣化(のため、	交換する
Ē	近を明え	示する								0								
l																		

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 3年度 予定
①須坂市豊洲地域防災拠点施設整備
②指定緊急避難所標識設置工事
令和 5年度 予定
1000120120
A10.75 P.D.
令和 7年度 予定

指標名	雨量計の更新整備								
算 式						単位	台		
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7	年度		
目標値	目 標								
日保旭	実 績								
指標選定	市内4カ所(市役所、峰の原、豊丘、仁礼)に設置している雨量計がH26年の更新後、気象庁が定める検定期								
の理由	間の5:	年を経過することから	更新する						
最終年度									
目標の根拠									
指標名									
算 式						単位			
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7	年度		
目標値	目 標								
	実 績								
指標選定									
の理由									
最終年度									
目標の根拠									
指標名									
算 式						単位			
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7	年度		
目標値	目標								
	実 績								
指標選定									
の理由									
最終年度									
日煙の根拠									

事業費 (単位:千円)

		令和 2年度	令和 3年度
		決 算	予 算
事業費		22, 665	800
	国庫支出金	0	0
特定	都道府県支出金	3, 900	0
財 源	地方債	18, 000	0
	その他	0	0
一般財源		765	800
人員数	正規職員	0. 3	0.0
(人)	嘱託職員	0. 1	0.0
(人)	臨時職員	0.0	0.0
	正規職員	2, 090. 4	0.0
人員	嘱託職員	314. 9	0.0
コスト	臨時職員	0.0	0.0
	計	2, 405. 3	0.0
市民一人当たりの経費		0. 5	0.0
総額		25, 070. 3	800. 0

(単位:千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳					
+> htt					
主な節	金額	内容			
7節 報償費	0				
10節 需用費	0				
12節 委託費	8, 727				
14節 工事請負費	0				
18節 負担金補助及び交付金	441				
その他	13, 497	雨量計更新整備674			

(単位:千円)

	令和 3年度当初予算 事業費の内訳						
主な節	金額	内容					
7節 報償費	0						
10節 需用費	0						
12節 委託費	0						
14節 工事請負費	800	指定緊急避難場所標識設置工事一式 800					
18節 負担金補助及び交付金	0						
その他	0						

CHECK

CHECK	im nulty for					
	個別評価					
項目	評価観点	評価内容				
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか	必要不可欠				
評 価 コメント						
有効性	事業の成果は上がっているか目標に対する達成度は十分か市民生活上の課題解決に貢献しているか行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	大変有効				
評 価 コメント	住民のよりどころとなるよう使用形態を明確にし、災害時に有効利用できる防災拠	点としていきたい。				
効 率 性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか・効率性向上に努めているか・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	向上				
評 価コメント	浸水想定区域のためかさ上げ工事等は不可欠で有事の際有効である。今後は、維持 会と使用方法について調整する。	管理費用の削減のため自治				

振り返り(決算年度の取組み課題)

工事の進捗が予定どおり年度内に着工した。今後は毎週の打合せ会議を行い業者、自治会と細部の調整を行う。

内部評価【二次】 4頁

ACTION

1次評価 2次評価

次年度以降の方向性総合計画に	沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	
総合評価コメント		2次評価コメント		
住民のよりどころとなるよう使 害時に有効利用できる防災拠点			特の防災拠点としての活用が期待さ との調整を行いながら進めている。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	